

令和5年1月12日

保険薬局 各位

一般社団法人 静岡市薬剤師会
担当副会長 河西きよみ

令和4年度第3回静岡県立総合病院と静岡市薬剤師会 及び清水薬剤師会との打ち合わせ報告書

開催日時：令和4年12月7日（水） 19：00～19：45
開催場所：静岡県立総合病院 PETセンター 1階 会議室
出席者：静岡県立総合病院 井上医薬連携統括監 鈴木副薬剤部長、南副薬剤部長
櫻井副薬剤部長、河野部門長代行、牧田医事課長、
静岡市薬剤師会 河西副会長、小長谷理事
清水薬剤師会 杉本副会長
薬局メディスン静岡本店、くすり自然堂薬局県総前店、まごころ調剤薬局、
そうごう薬局北安東店、日本調剤静岡県総薬局

I. 静岡県立総合病院より

1. 調剤過誤報告（当院処方） 《R4年9月～R4年11月 報告分》

報告①《規格違い》調剤日：9/21 過誤判明日：9/23 報告日：10/4【焼津市】

9/21にフェブキシostat錠20mgのところフェブキシostat錠10mgで調剤した。
9/23日に入力確認の際に過誤に気づいた。

- 【原因】
- ・フェブリク錠20mgからフェブキシostat錠20mgに変更となった。
 - ・前回の内容を照会し入力内容を変更する際に規格を誤って入力した。
 - ・入力確認時、調剤時、監査時、薬剤交付時にも誤入力に気付かなかった。
- 【経過】
- ・2日分服用。体調に変化がないことを確認した。
- 【対策】
- ・入力者は処方入力時に処方箋の内容と処方入力内容に相違がないか十分に確認する。
 - ・入力確認時にはレ点チェックだけでなく薬剤の規格、用法、調剤日数などの項目を「○」で強調し、以降の業務を担当する者へ注意を促す。
 - ・監査において、処方箋と薬剤及び帳票の内容に誤りがないか詳細に確認する。
 - ・薬剤交付時には、処方箋に基づき患者と薬剤等を十分に相互確認する。

報告②《半錠》調剤日：9/8 過誤判明日：9/9 報告日：10/21【駿河区】

カルベジロール錠10mg1錠分2(1回0.5錠) カルベジロール錠2.5mg1錠分2(1回0.5錠)の処方、1回半錠にすべきところしないで調剤交付した。患者から半錠になっていない旨の電話連絡があり発覚した。

- 【原因】
- ・20時頃の遅い時刻の調剤だったため注意力が低下していた。
 - ・投薬時の再確認が不足していた。
- 【経過】
- ・服用前に半錠調剤してお渡しした。

- 【対策】・投薬時に患者さんに確認して渡す。
・注意力が低下している時は、一呼吸してから監査する。

2. その他

① 内服抗がん剤のフォローアップシートについて

抗がん剤の院外処方の際に、患者本人に配付を想定。副作用のグレード評価と病院側からの申し送り等が記載されている。受け取った薬局は、患者情報等を当該フォローアップシートにて病院へフィードバック。患者が薬局に提出忘れのないよう、病院側でお薬手帳にフォローアップシートを配付した旨の印を押すことについても検討中。

運用については、12月15日に行われた連携充実加算のweb会議にて連絡済。

② ジクトルテープの処方数制限について

適応追加となり、腰痛症や頸部痛に使用できるようになったが、医科の審査機関で湿布同様に63枚制限をかけるべきといった議論もある。全身作用を期待する薬剤(薬効分類コード114)であり、メーカーは制限なしを主張している。現状枚数制限について原則疑義不要。今後、査定事例等については共有していただきたい。

③ 電子処方せんについて

現在ベンダーの対応待ち。3月には対応できるとの事だが、当院としては5月の電子カルテ更新には間に合わせたいところ。保険薬局の現状も同様にシステムの普及がまだであり、HPKIの供給も追いついていない状況。

④ 調剤時のカプセルへの充填

当院医師より、散剤のカプセル充填の応需可能な薬局があるかとの問い合わせあり。

→対応は難しい。

《参考》疑義解釈通知 H16.3.30 問6

Q：散剤を飲めない人へのカプセル充填は自家製剤加算算定可能か？

A：嚥下障害等により市販の剤形では服用できない患者に対して剤形を加工した場合には算定できるが、カプセル剤の溶出性が散剤の場合と同じであることが担保されなくてはならない。体内動態に問題ないことが確認され、医師の了解が得られ、局方の製剤総則に従って調剤を行った場合に限り自家製剤加算を算定することができる。

II. 薬剤師会より

① 質問

19:00～20:00 までの外来処方箋枚数はどれくらいありますか。

→データは持ち合わせていないが、院内では2～3枚、日調へは5～6枚程度。

② 処方箋発行枚数に対する疑義照会件数割合

→2%台で推移している。プロトコルの運用もできているので、割合としては少ない方であると思われる。

③ 服薬情報等提供料 3

現在、入院日を決定したタイミングですぐに常用薬を確認する流れになっていて、保険薬局に行く時間的余裕がない。また、報告書を再度電子カルテに入力する手間が生じてしまう。他院でうまく運用している例があれば参考にしたい。

次回開催日 令和5年 3月15日(水) 19:00～ 場所は未定